

# 秋ダイコン

山武経済センター  
営農指導員 伊藤 統之

# 農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural-work technical diary



# イチゴ

成東経済センター  
営農指導員 宇井 文英

播種前に土壌内の水分を確保してください。  
播種時期については、ダイコンの品質に大きく関わってきますので、品種に応じた播種を行い、特に早播きは、品質の低下を招きますので避けてください(表⑤参照)。条数は2条播き、株間30センチが目安となります。密植は病害の発生を助長するので避



## 播種

秋ダイコンは、土壌内の病害虫の発生も多く、特にキスジノミハムシやネキリムシに対する防除を十分に行うことが重要です。施肥は播種7日前までに施用します(表②参照)。なお、高温時における栽培では、窒素過剰により空洞化、赤芯になりやすいので注意しましょう。



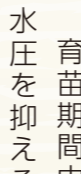
## 圃場準備

品種の選定に当たっては、品種特性を考慮して行ってください。秋ダイコンは、高温時での作付けとなります。赤芯・黒芯といった生理障害、軟腐病等の病害発生が多くなりますので、これらに対する抵抗性が高い品種選定が必要となります。



## 作型と品種

育苗期間中の灌水は、朝に一回、水圧を抑えるなどしてやさしく行いましょう。



## 灌水

梅雨明け以降の7〜8月は、高温によりランナーの先枯れが起こりやすくなるため、50%程度の遮光資材で外部遮光します。

イチゴは夏の暑さに弱い作物です。風通しを良くしたり、遮光を行ったりなどして、育苗に適した環境作りを心がけましょう。  
雨よけ施設下では気温が上昇しやすいので、施設の妻面・側面を出来るだけ広く開放し、換気効率を良くします。



## 暑さ対策

昨年は、9月中の気温が若干低く推移しましたが、その後は日照時間、気温とも多く確保でき、頂花房の着果は早く、花数も多い傾向でした。第2花房(腋花房)も、早い作型では順調に着果しましたが、その後の第3花房の着果が遅れたため、年明けの収穫量が減りました。



## 昨年の状況

表② 秋ダイコンの施肥例 (10a当たり)

| 肥料名          | 成分     | 施肥量     | 備考           |
|--------------|--------|---------|--------------|
| さんぶジアン有機特806 | 8-10-6 | 40~60kg | 前作により、施肥量を調整 |
| 苦土石灰         |        | 60kg    |              |
| 苦土重焼燐        | 0-35-0 | 40kg    |              |
| FTE          | 総合微量元素 | 4kg     | 黒芯、赤芯対策      |

表③ 秋ダイコンの作付体系

| 指定品種    | 播種時期      | 収穫適期   |
|---------|-----------|--------|
| SC1-126 | 8/10~8/20 | 10月上旬~ |
| 夏の翼     | 8/15~8/31 | 10月中旬~ |
| 福誉      | 8/20~8/31 | 10月下旬~ |
| 秋みね     | 9/1~9/15  | 11月上旬~ |

表④ 秋ダイコンの病害虫防除 (10a当たり)

初期の盛んな生育と、揃った根形を確保するためには、播種前後の圃場の水分確保が必要です。また、初期に過乾燥となった場合、横縞症の発生を助長しますので、水の確保が重要なポイントとなります。  
表④が基準となります。ダイコンの登録農薬は、収穫前の日数が長いので注意しましょう。



## 病害虫防除



## 肥培管理

けましょう。

5月の分析経過について

| 合計13点    |                     |
|----------|---------------------|
| 残留農薬分析点数 | 多成分一斉分析             |
|          | 夏ネギ .....2点         |
|          | トウモロコシ .....1点      |
|          | ソラマメ .....1点        |
|          | 春ダイコン .....1点       |
|          | 春ニンジン .....2点       |
|          | 春ニンジン(ちばエコ) .....1点 |
|          | 小玉スイカ .....1点       |
|          | キャベツ .....1点        |
|          | 春トマト .....1点        |
|          | タマネギ .....1点        |
|          | ミニトマト .....1点(緑の風)  |

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 ..... 合計12点

表④ 秋ダイコンの病害虫防除 (10a当たり)

| 病害虫名                     | 薬剤名                    | 倍率・使用量     | 備考       | 総使用回数 |
|--------------------------|------------------------|------------|----------|-------|
| キスジノミハムシ<br>ネキリムシ類       | ダイアジノン粒剤5              | 6kg        | 播種時      | 1回    |
| キスジノミハムシ                 | フォース粒剤                 | 6~9kg      | 播種時      | 1回    |
| コナガ<br>ハイマダラノメイガ(シンクイムシ) | フェニックス<br>顆粒水和剤        | 2000倍      | 収穫7日前まで  | 2回    |
| アオムシ・コナガ                 | アフーム乳剤                 | 1000~2000倍 | 収穫7日前まで  | 3回    |
| 軟腐病                      | スターナ水和剤                | 1000倍      | 収穫14日前まで | 5回    |
| 軟腐病・ワッカ症・<br>黒斑細菌病       | カスミンボルドー               | 1000倍      | 収穫14日前まで | 3回    |
| ワッカ症<br>白さび病             | ランマンフロアブル <sup>※</sup> | 2000倍      | 収穫3日前まで  | 3回    |
| 亀裂褐変症                    | リゾレックス粉剤               | 20~40kg    | 播種前      | 1回    |

※ワッカ症対策として、本薬4~5枚時に防除を行うと効果が上がります。

表① イチゴのうどんこ病に登録のある薬剤

※予: 予防/治: 治療

| 薬剤名           | 使用倍率  | 使用時期     | 総使用回数 | 備考  |
|---------------|-------|----------|-------|-----|
| ベルコートフロアブル    | 1000倍 | 育苗期(定植前) | 5回    | 予   |
| フルピカフロアブル     | 2000倍 | 前日       | 3回    | 予   |
| ガッテンフロアブル2    | 2000倍 | 前日       | 2回    | 予・治 |
| アミスター 20フロアブル | 1500倍 | 前日       | 本圃3回  | 予・治 |

※薬剤の使用にあたっては、最新の登録内容をご確認ください。



写真①  
イチゴの葉に発生したうどんこ病  
(提供元: JA全農ちば)